

# キバナノアマナ

*Gagea lutea*

ユリ科



キバナノアマナ

## 名前の由来

花が黄色く、葉が甘い味がすることから名付けられた。

漢字名：黄花甘菜

魚類

底生動物

両生類  
爬虫類

トンボ

チョウ

樹木

草花  
(在来種)

草花  
(外来種)

哺乳類

鳥類  
(水辺)

鳥類  
(草原・樹林  
ワシ・タカ)

## 形態的特徴

高さ15~20cmで、全草白緑色。根元から細長い葉(根出葉)を1枚と花茎を1本出す。茎上方に2枚の苞葉と、3~10個の花をつける。花は径2.5~3cmで花びら(花被片)は6枚で細長く、内面は黄色で背面は緑色。

類似種と見分け方：ヒメアマナ、エゾヒメアマナ。ヒメアマナは全体に小さく、花の数も少ない。エゾヒメアマナもヒメアマナと同様に小さく、葉の表面がくぼんで花茎をだく。両種ともキバナノアマナよりは、見る頻度は低い。

## 生育環境・分布

落葉樹林内や、やや湿った草地などに見られる。しばしば群生する。

分布：国外分布は、千島・樺太・朝鮮・中国・シベリア東部・ヨーロッパ。

国内分布は、北海道から本州中部以北。本州西部と四国ではまれ。

北海道内分布は、全道。

十勝地方では、落葉樹林内や、やや湿った草地などに見られる。しばしば群生する。

## 生活史

開花時期：4~5月。開花までの年数：不明。寿命：多年草。

## 他生物との関わり

花には虫が訪れる。

## 興味深い話

■アクがなくそのまま料理に使える、若い葉や茎、鱗茎が食べられる。葉や茎はゆでておひたし、あえもの、油炒めにしたり、生のままてんぷらにして食べる。ただし、自生地はあまり多くない。

## 配慮事項

生育している環境全体が重要である。

## 生活サイクル

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
開花期	■											
結実期		■										



キバナノアマナ (右上も)



類似種のヒメアマナ

## 参考文献

「改訂版 牧野新日本植物図鑑」 牧野富太郎 北隆館 1989

「日本の野生植物 草本Ⅰ」 佐竹義輔・大井次三郎 他 平凡社 1982

「北海道植物図譜」 滝田謙譲 自費出版 2001

「新版 北海道山菜図鑑」 佐藤孝夫・小林隆正・久保秀樹 亜璃西社 2002